



KYOTO UNIVERSITY
SCHOOL OF PUBLIC HEALTH



COMETワークショップ

～臨床試験の中核アウトカムを考える～

日時： 2013年4月3日（水） 10:00～17:00

場所： 京都大学医学研究科G棟2階セミナー室A

講師： リバプール大学（英国） Paula Williamson教授
クィーンズ大学（英国） Mike Clarke教授

内容： もしエビデンスの集積がこれからの臨床の指針となるのなら、エビデンスは集積できる形で研究されなくてはならない、つまり結果報告バイアスを避けるために疾患ごとに共通の中核的アウトカムが測定されて報告されなくてはならないという認識がEBMの世界で急速に広がっています。

そんな中、COMET Initiative (Core Outcome Measures in Effectiveness Trials)とは何か、どうしてそんなに重要なのか、COS (Core Outcome Set)はどうなるのか、などをレクチャーとワークショップ形式でカバーします。

対象： *これから effectiveness trialsを計画・実施することを考えている研究者、臨床試験方法論に興味をお持ちの方にぜひご参加いただきたいワークショップです。

主催： 京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻
参加費無料、事前申し込み者（メールで所属・氏名の登録）優先、当日参加可
問い合わせ：健康増進・行動学分野

cbm.kusph@gmail.comまたは075-753-9491

詳細は<http://ebmh.med.kyoto-u.ac.jp/workshops.html>参照

THE COCHRANE
COLLABORATION®